

社会的課題へのわれわれの挑戦

国際社会においては、2015年に国連サミットでSDGs (Sustainable Development Goals／持続可能な開発目標)が採択され、そこで定めた17の目標の達成に向けて、企業の参画が求められています。太陽誘電もこの国際的な背景に加え、当社の経営理念や今後のAI社会、IoT社会におけるニーズを踏まえたうえで、重点課題を明確にした取り組みを進めることで、社会的課題の解決へのわれわれの挑戦を継続していきます。

経営理念に基づくCSR活動

太陽誘電の経営理念は、「従業員の幸福」「地域社会への貢献」「株主に対する配当責任」の3原則を実践することです。グローバルな観点で社会性、公益性、公共性を全うし、事業を継続的に発展させていくことが会社の社会的責任であり、経営の使命と考えています。

さらに、当社ビジョンは、「お客様から信頼され、感動を与えるエクセレントカンパニー」になることであり、市場のニーズに合ったスマート商品を創出し、あらゆる市場で私たちがつくつ

た商品を使用していただくことで事業を拡大、経済価値を高めていきます。また、増加・高度化するステークホルダーからの要求や期待に応えて社会的責任を果たすことで信頼を得て、社会価値を高めていきたいと考えています。

これらを実現するため、安全で高品質なスマート商品を開発・生産・販売し、労働・人権・安全衛生・環境・倫理という企業での取り組みにおいても責任をもち、活動を継続実施していきます。

CSR推進体制

太陽誘電グループのCSR活動は、内部統制委員会が全体を統括し、推進組織として行動規範の各条文や対象リスクごとに担当役員とHQ部門が選任され、そこから示される活動方

針やグループ共通ルールに従い各グループ会社が実行する体制(コンプライアンス・リスク管理体制)によって運営されています。

コンプライアンス・リスクマネジメント

太陽誘電では、コンプライアンスとリスクマネジメントをCSRマネジメントシステムの主活動として取り組んでいます。

順守すべき法規制や事業活動に影響を与えるリスクを各組織単位でリスト化し、法規制の順守手順や、リスクの低減対策を立案・実施しています。

 <https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/management/>

具体的なリスクおよびその対策事例

事業継続への取り組み

太陽誘電グループは、地震、台風、洪水などの自然災害、事故の発生などにより、操業停止や製造設備への多大な損害を受ける可能性があります。当社グループでは主に次の3項目を実施し、サプライヤーにも同様の項目を実施していただくことで、サプライチェーン全体をカバーするBCP体制の構築と、安定供給体制の構築に努めています。

- 生産ライン復旧までの十分な在庫の確保
- 生産拠点をグローバルに分散
- 部材調達先の分散

環境規制への対応

太陽誘電グループは事業を展開する各国において、有害物質の使用、産業廃棄物の処分、水質・大気・土壌の汚染防止についてさまざまな環境関連法令の規制を受けています。規制は年々厳しくなっており、事業活動の制約などにつながる可能性があります。太陽誘電グループでは、これらの規制に対応するため有害物質の使用全廃、処理設備の導入等を行い、事業の円滑な継続に取り組んでいます。

CSRマネジメントシステムとSDGs

太陽誘電グループは、CSR憲章で示した内容の実現や、CSR行動規範および法規制を順守するため、CSRマネジメントシステムを構築しています。行動規範で示す具体的な実行方針を推進するための仕組み、ルールを整備し、グループ各社がPDCAによる活動を実施しています。

また、2015年に国連サミットで採択されたSDGsで掲げら

れるさまざまな社会的課題に対して、太陽誘電グループの事業やESG活動を通じて貢献することを考え、CSRマネジメントシステムの運用により継続的に改善を図り、持続的な成長を実現していきたいと考えています。

ここでは、太陽誘電グループの行っている事業活動・ESG活動とそれぞれに該当するSDGsへの貢献をご説明します。

■ SDGs関連表

	SDGs 目標	太陽誘電の取り組み	関連リンク
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	■ 太陽誘電グループの各拠点で献血活動を行っています	社会貢献(献血活動)
	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	■ 理科への興味・関心向上のため、電子工作を体験できる子供向けものづくり教室を開催しています ■ 創業者が設立した交通遺児福祉基金をはじめ、奨学金などへの寄付を行っています	社会貢献(ものづくり教室) 社会貢献(子供たちへの支援)
	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	■ 多くの意欲ある女性が活躍できる雇用環境を整備するため、推進行動計画を策定し、実行しています	ダイバーシティ
	すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する	■ 事業活動で発生した廃水の処理を行い、安全な水を排出しています ■ 多種な生物が生息する水辺の清掃活動を行い、水に関連する生態系の保護に貢献しています ■ 水リサイクルを推進し、水使用量を削減しています	サイト別データ 社会貢献(山・川・海の清掃) 環境の取組み(水使用量削減) 廃棄物/水(水資源の取り組み強化)
	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	■ 太陽光発電の監視システムや発電電力の損失を防ぐ製品を提供し、太陽光発電の効率化に貢献しています ■ 再生可能エネルギーの利用促進のため、太陽光発電システムによる発電を行っています	ソリューションのご提案/太陽光発電向けニュースリリース「本郷太陽光発電所」稼動開始のお知らせ
	すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する	■ 高水準な安全衛生を目指し、安全な労働環境の整備を行っています	安全衛生活動(取組み)
	レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、インノベーションの拡大を図る	■ エネルギー効率を高めるため、長寿命・高容量密度のリチウムイオンキャパシタを開発・供給しています	製品情報/ソリューションのご提案(リチウムイオンキャパシタ) 身のまわりで活躍する太陽誘電の商品
	国内および国家間の不平等を是正する	■ あらゆる形の差別を禁止する機会均等方針を定め、実行しています	人権と労働
	都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする	■ 安全な街づくりのため、防犯システムなどにワイヤレスセンサネットワークが活用されています	ワイヤレスネットワーク/医療・介護・防犯
	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	■ 資源の効率的な利用を行っています ■ 生物多様性への影響低減、自然との共生のために、廃棄物および水資源の3R (Reduce, Reuse, Recycle)を行っています ■ 地球温暖化防止のため、エネルギー使用量の削減を行っています ■ 持続可能性に関する活動情報を定期的に報告しています	環境目標と進捗状況 廃棄物/水資源 GHG、エネルギー 安全・環境報告書
	気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る	■ 地球温暖化防止のため、エネルギー使用量の削減を行っています ■ 持続可能性に関する活動情報を定期的に報告しています	GHG、エネルギー 安全・環境報告書
	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する	■ 健全な海洋を実現するため、フィリピンの海辺に毎年1万本のマングロープ植林を行っています ■ 海洋汚染防止のため、川や海辺の清掃活動を行っています	生物多様性の取り組み(マングロープの植林) 社会貢献(山・川・海の清掃)
	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る	■ 森林の回復のため、フィリピン、マレーシア(サラワク)などでの植林活動を行っています ■ 山地生態系の保全を確保するため、下草刈りや間伐作業を行っています ■ 生態系保護のため、外来生物の駆除を行っています	社会貢献(植林) 生物多様性の取り組み(森林整備ボランティア) 生物多様性の取り組み(外来生物の駆除)
	持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する	■ リスクを特定・評価し、責任ある鉱物調達を行っています	責任ある鉱物調達への対応